



新政会
渡邊 龍之
議員

暴力団排除条例の制定について

質問 暴力団排除条例の制定に向けての検討内容及び制定時期は。

答弁 北海道条例の基本理念を踏まえ、自治体の取り巻く状況、自治体ならではの規定等について検討作業を行っており、来年4月から施行ができるよう条例の制定に向け取り進めています。

広域行政について

質問 広域行政における負担金の算出基準及び見直しの考え方は。

答弁 一部事務組合や広域連合で定める負担金の算出方法は、均等割や人口割のほか、共同事務の目的や性格を踏まえた計算により算出されています。組合や事業別で構成市町の変更が生じる場合には、負担金の算出方法を含め協議を要しますが、現状においては効率的な運営を図り、構成市町の負担金総額の縮減に努めることが必要と考えています。

農業施策について

質問 農業施策を深化し、取り組みを鮮明にした対策をすべきでは。

答弁 これまでも国の施策を活用し農業経営の安定化に努めてきましたが、特に将来の本市農業を担う人材育成が喫緊の課題であることから、「農業後継者」「新規就農者」「農業生産法人」の育成・確保を三本柱として本市農業の振興を推進するとともに、基盤整備事業についても予算確保に努め、市単独事業を含め農地の排水整備を支援していきます。

滝川警察署の建て替えについて

質問 北海道への滝川警察署建て替え要請等、本市の取り組みは。

答弁 現在の警察署庁舎は築50年を超えており、北海道の財政状況が厳しいことから建て替え計画はあるものの、具体的な時期は示されていません。市、市議会、関係機関等、地域の要望や後押しが早期建て替えの実現の一助になることから、実現に向け行動の形態やタイミング等について滝川警察署とも相談していきます。



公明党
堀 重雄
議員

街路灯補助事業について

質問 街路灯補助について、各町内会の申請状況は。

答弁 各町内会からの設置要望数は531灯ありましたが、予算の制約もあり、現地を確認して353灯を補助対象として選定しました。選定から外れた町内会には、個別に説明をして理解をしていたのだいたところでした。

質問 費用対効果の面からも、申請に100%応えるべきでは。

答弁 今年度は予算を組むことができませんでしたが、今後もLEDへの交換に対し、町連協とも相談し検討していきます。

質問 街路灯用ポールの老朽化に伴い、撤去が必要になっている箇所が出てきているが取り組みは。

答弁 現在約1,300本の街路灯用ポールがありますが、撤去に對して補助基本額5万円、補助率50%で対応しているところです。街路灯用ポールは撤去費用

が高く、町内会にとって負担が大きいです。市で費用を見るべきでは。

答弁 今後、大きな課題として検討します。

ワクチン接種について

質問 全体的なワクチン接種の状況を伺う。

答弁 定期予防接種については、平成24年度は7種類、今年度3種類が増え、計10種類となりました。乳幼児7種類、学童期3種類、高齢者1種類で、接種率は乳幼児が90〜95%、学童期が78〜86%、高齢者が42%となっています。

質問 ワクチン接種に伴う一般的な副作用と子宮頸がんワクチン接種による副作用の現状は。

答弁 一般的な副作用としては発熱、はれ、痛みなどがあります。子宮頸がんワクチンでは、そのほかに失神、けいれん、関節痛などがあります。子宮頸がんワクチンによる副作用としては、これまでに864万回の接種に対し1,968件の副作用の報告があり、このうち重篤とされるのは106件で、10万人に1人の割合となっています。